

第3学年社会科（公民的分野）学習指導案

日 時
学 級
場 所
授業者

1 単元名

個人の尊重と日本国憲法

2 単元の目標

対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにする。

- ・個人の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であること、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていること、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。 [知識及び技能]
- ・我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 [思考力、判断力、表現力等]
- ・個人の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。また、だれもが自分らしく、幸せに生きることができる社会を創ることを目指し、これからの人権保障についての課題を主体的に追究する。 [学びに向かう力、人間性等]

3 単元について

(1) 生徒の実態

個人の尊重についての考え方や法の意義、法に基づく政治及び日本国憲法の基本的原則に対する基礎的・基本的な知識を習得しているが、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について理解することができる生徒は少ない。そのため、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であるということを、生徒の身近な生活と結び付けながら、考察できる力を身に付けられるようにしていきたい。

本学級では、基本的な資料の読み取りの力は少しずつ身に付いてきているが、資料と社会的事象を関連付けて考察したり、他者の意見や考えを踏まえて自分の意見を表現したりすることについて苦手意識をもつ生徒が多いため、ディスカッションや協働学習を用いて、多面的・多角的に考える場面を設定していきたい。

(2) 教材について

本単元は、民主的な見方や考え方の基礎が養えるように、個人の尊重についての考え方を深めるとともに、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について理解するものである。民主主義は、個人の尊厳を基礎として成り立ち、全ての国民の自由と平等が確保されていることを理解するために適切な教材であると考えられる。本単元の学習は、具体的な事例を取り上げながら学習を展開していくことで、生徒の人権に対する興味・関心を高めることができ、さらに個人の尊重についての考え方を深めることにつながる。

(3) 指導について

指導に当たっては、生徒の興味・関心が高まるように、具体的な事例を取り上げながら学習を展開し、「自分らしく幸せに生きていくために、どのような人権が保障されているのか」を学習問題として追究していきたい。資料を読み取る場面では、分析の仕方を確認しながら、資料分析の技能を高めていく。さらに、習得した知識や技能を生かしながら、意思決定を取り入れた討論型の発展学習を展開し、思考力、判断力、表現力等を育成する。今回は「人権の保障と公共の福祉」を題材に、社会的な問題の実例として、「道路建設をめぐる対立」を取り上げ、立ち退き拒否の側と立ち退きを求める側の対立の原因と

主張、根拠を整理しながら、「道路建設は公共の福祉にあたるのか」を視点に学習問題「道路の拡張計画について賛成か、反対か」を導き出したい。そして、視点を基に多面的・多角的に考察し、意思決定をする。討論場面では、グループ活動を取り入れ、その中で他者と意見交換をしながら、比較したり、共有したり、練り上げたりして、自分の考えを深めたい。公共の福祉を考える際には、個人の尊重という視点から、人権の制限には慎重にならなければならない、最大限バランスよく人権が保障されるよう配慮する必要がある。最終的には一方を選択するのではなく、対立を調整し、合意に導くためにはどうしたらいいかについても「効率」「公正」の見方や考え方を生かして検討したい。

(4) 生徒が「読み解く力」を、高め、発揮している姿とそのための手立て

<p>【「読み解く力」の二つの側面】</p> <p>A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力</p> <p>B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力</p>	<p>【「読み解く力」の三つのプロセス】</p> <p>①…発見・蓄積：必要な情報を確かに取り出す</p> <p>②…分析・整理：情報を比較し、関連付けて整理する</p> <p>③…再構築：自分なりに解決し、知識を再構築する</p>
<p>【A①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の政治における憲法の位置付けを図などから読み取ることで、憲法の重要性を理解している。 	<p>【B①】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループによる意見交流を通して、憲法に基づく政治によって、国民の自由と権利が守られていることを理解している。
<ul style="list-style-type: none"> 人権保障について日常生活と結び付けたり、自分に置き換えたりする場面を設定する。 	
<p>【A②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 憲法に書かれている内容を知った上で、身の周りにある様々な人権保障に関する課題を、憲法の条文と照らし合わせながら考えている。 憲法をどのように解釈するか、既習の内容、これまでの自分の人生経験やその中で築き上げてきた価値観とも照らし合わせながら自分なりの考えを整理している。 	<p>【B②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人それぞれの立場や価値観のちがいがから、憲法の解釈の仕方、求める人権保障のあり方にはちがいがあことに気付く、自分の解釈をもう一度見つめ直している。
<ul style="list-style-type: none"> 収集した資料の中から、法の意義や我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることなどについての学習に役立つ情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりする。 グループによる意見交流を通して、「対立と合意」「効率と公正」の視点から自分の意見を整理する。 	
<p>【A③】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的人権の尊重を中心とした個人の尊重についての考え方と、憲法をはじめとした法との関連から課題を見つけ、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<p>【B③】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の人の考え方を知った上で、対立と合意、効率と公正の視点から考察し、自分の考えを表現している。
<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの考えをもつ時間を確保したあとに、意見交流をする場面を設定する。また、最後にもう一度自分の意見を整理する活動を設定することで、自分の考えの変容について気付くことができるようにする。 	

4 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 個人の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 だれもが自分らしく幸せに生きることができる社会を創るために、これからの平和主義に関わる課題や基本的人権の

・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。	課題の解決、個人の尊重と公共の福祉を視野に主体的に追究しようとしている。
---	--------------------------------------

5 指導と評価の計画（全19時間）※実線は、「読み解く力」のAの側面、波線は、Bの側面に関わる留意点や評価規準

次	時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
一	1	・道路拡張計画に対して、自分の意見をもつ。個人の尊重と法の支配、効率と公正などに着目し、考えていくことを理解する。	・身近な事例から、自分と憲法や政治に関わる問題とのつながりに気付き、学習に対する関心や意欲をもつことができるよう身近な事例を取り上げる。	・個人の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。(態)
	2	・民主主義の考え方やその決定の仕方を理解することを通して、よりよい民主政治のために必要な事柄を考える。	・政治とはどのようなはたらきをもつものかを理解できるように具体例を挙げて説明する。	・民主主義に着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。(思)
	3	・政治権力が公平に行使され、私たちの自由を守るために、法の支配と権力分立が必要であることを、人の支配と比較して考察する。	・個人の尊重が実現されるためには、基本的人権を保障し、政治権力を制限する立憲主義の憲法が必要であることを人の支配と比較することを通して理解できるようにする。	・個人の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。(知)
	4	・日本国憲法の三つの基本原則は、どのような背景から成り立ったのかを理解する。	・日本国憲法がどのような経緯で制定されたのかを歴史的背景を基にしながら理解できるようにする。	・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。(知)
	5	・民主主義と法の支配を実現させるために、国民主権と国民の政治参加がなぜ重要なのかを理解する。	・国民主権の意味と行使の方法や、日本国憲法における天皇の位置付けを憲法条文等を用いて理解できるようにする。	・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。(知)
二	1	・「あってよいちがい」と「あってはいけないちがい」に分類したときの根拠について考え、話し合いながら、私たちが自分らしく幸せに生きていくために、どのような人権が保障されているのかを考える。	・基本的人権が個人の尊重の原理に基づいていることを理解し、だれもが自分らしく幸せに生きることができる社会を創るために、どのような人権が保障されべきかを考えるようにする。	・だれもが自分らしく幸せに生きることができる社会を創るために、基本的人権の課題の解決を視野に主体的に追究しようとしている。(態)
	2	・自由権が侵害された場合、どのような問題が生じるかを考える。	・個人として尊重され、個性や才能を發揮していくには、国家から干渉や妨害を受けない自由権があることを事例を基に考えられるようにする。	・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。(思)
	3	・男女共同参画社会や障がいのある人とともに生きる社会を実現する施策について理解する。	・基本的人権を基礎付ける法の下での平等の意義を、具体的な施策を取り上げて、理解できるようにする。	・個人の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。(知)
	4	・現在も存在する部落差別、アイヌ民族への差別、在日韓国・朝鮮人差別の問題を解決し、共に生きる社会を実現するための	・様々な資料から、差別解消のための取組について、それぞれの立場を意識して考えられるようにする。	・個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面

	施策について考える。		<u>的・多角的に考察し、表現している。</u> （思）
5	・具体的な事例から、人間らしい生活を保障することとはどのようなことかを理解する。	・社会権が生まれた背景を踏まえ、社会権で保障されている内容を理解できるようにする。	・ <u>個人の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。</u> （知）
6	・参政権や請求権の重要性について理解する。	・参政権や請求権が、それぞれどのように人権を保障しているのかを理解できるようにする。	・ <u>個人の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。</u> （知）
7	・情報化に関わる新しい人権について、社会の変化を踏まえて考察し説明する。	・具体的な事例を挙げながら、社会の変化に伴って人権の考え方が広がり、日本国憲法に規定されていない人権も保障されてきていることに気付けるようにする。	・ <u>対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</u> （思）
8	・科学技術の発展に関わる新しい人権について、社会の変化を踏まえて理解する。	・科学技術の発展に関わる新しい人権の意義と内容を理解できるようにする。	・ <u>個人の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。</u> （知）
9	・国際的な人権課題を捉え、その解決の方向性について、理解する。	・国際的な人権保障がどのように展開されたのかを理解できるようにする。	・ <u>個人の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。</u> （知）
10	・公共の福祉による人権の制限について話合う。	・基本的人権と公共の福祉の関係について、具体的な事例を基に、その理由を考えられるようにする。	・ <u>対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</u> （思）
11	・道路拡張計画に対して、自分の意見を効率と公正、個人の尊重の視点を踏まえて考察し、表現する。	・原因や主張、根拠を整理させることで、対立する人権を把握できるようにする。	・ <u>対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</u> （思）
12 本時	・道路拡張計画に対して、他の人の意見を参考にしながら、根拠を明確にして考察し、表現する。	・人権の学習内容や日本国憲法条文をもとにして、自分の意見をまとめていけるようにする。	・ <u>だれもが自分らしく幸せに生きることができる社会を創るために、個人の尊重と公共の福祉を視野に主体的に追究しようとしている。</u> （態）
三	1	・日本国憲法の平和主義のあり方を、日本国憲法の条文や資料をもとに理解する。	・ <u>日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。</u> （知）
	2	・日本国憲法の平和主義に基づいて、これからの日本の安全保障について考える。	・ <u>対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</u> （思）

6 本時の目標（本時：17/19時間目）

- ・道路建設の是非を考えることを通して、個人の権利と公共の福祉が対立している状況に気付き、「道路建設は公共の福祉にあたるのか」について、個人の尊重と公共の福祉を視野に、他の人の意見を参考にしながら自分の意見を主体的に追究することができる。

7 本時の評価規準

主体的に学習に取り組む態度			
だれもが自分らしく幸せに生きることができる社会を創るために、個人の尊重と公共の福祉を視野に主体的に追究しようとしている。			
評価基準	十分満足できる状況（A）	おおむね満足できる状況（B）	努力を要する状況（C）
	これまでの学習内容、資料に基づく理由付けと他の人の意見から、意思決定し、記述している。	これまでの学習内容や自分なりの理由付けから、意思決定し、記述している。	（B）に達していない記述
（B）、（C）の生徒への支援		→資料や他の人の意見を基に自分の考えを整理するように促す。	→他の生徒の資料分析や考えをメモし、自分の文章に引用するように促す。

8 本時の展開 **※実線は、「読み解く力」のAの側面、波線は、Bの側面に関わる留意点や評価規準**

	主な学習活動等	指導上の留意点（・） 評価規準（□） ICTの活用（☆）
導入	1. 道路拡張に伴う論争を把握する。 2. 本時のめあてを確認する。	・前時にまとめた自分の意見を発表できるよう促す。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 道路拡張計画に賛成？反対？ 立場を明らかにして、その理由を説明しよう </div>	
展開	3. グループ交流を行う。 ・タブレットに書かれてある道路建設の是非についての自分の意見を根拠とともに表現する。 ・賛成派→反対派の順で説明をする。 【予想される生徒の意見】 <賛成> ・地域住民の交通面や不便さや危険性が想定されるため。 ・渋滞を解消するため。 ・経済活動を活発にするため。 <反対> ・歴史的な景観や住民生活の基礎ともいえる商店がならんでおり、それらを奪うことは地域住民の利益になるとはいえない。 ・Aさんの人権を保障するため。	・根拠を基に自分の意見を図式化して導くことを通して、対立する主張の背景にある憲法条文に着目できるようにする。 ・公共の福祉に基づき、財産権を制限できるかをめぐる争いであることを確認できるようにする。 ・効率と公正のグラフに基づいて、AさんとX市がどのような権利や見方・考え方を重視しているかをわかるようにする。 ・BさんからGさんまでの意見がどのような権利や個人の尊重、効率と公正などの見方・考え方を重視しているかをわかるようにする。 ・公共の福祉の使用は慎重な対応が求められることを理解できるようにする。 ・自分と反対の立場をとる人たちと意見交流の中で、自分の意見を再整理したり、相手の意見を踏まえて、意見を修正したりできるようにする。

<p>まとめ</p>	<p>4. 自分の意見をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを用いて学級全体で意見を共有する。影響を受けた意見には印をつける。 ・話合いや他の人の意見を参考にしながら、最終的な自分の意見をまとめる。 ・最終的な自分の意見をタブレットに打ち込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の尊重、効率と公正を踏まえ、公共の福祉の使用に関しては慎重に議論をする必要があることを確認する。 ・双方の立場で代表で何人かを指名し、発表する。 <p>☆タブレットを用いて学級全体で意見を共有させ、影響を受けた意見には印を2つに絞ってつける。</p> <p><u>□発言やワークシートから、だれもが自分らしく幸せに生きることができる社会を創るために、個人の尊重と公共の福祉を視野に、他の人の意見を参考にしながら自分の意見を主体的に追究しようとしている。(態)</u></p>
------------	--	---